

広報

のぼりべつ

•No. 441 •昭和62年7月1日発行



若草中央公園（若草町2丁目）の第2期工事が終了し、市民憩いの場として5月から開放されています。

札幌の大通り公園のミニ版ともいえるこの公園、第2期工事では、テニスコート、ゲートボール場各2面、あづま屋、12台収容の駐車場などが約8,800万円の事業費をかけて整備されました。

また、道道上登別室蘭線沿いには、しゃれた噴水も作られ、初夏の陽気に誘われた子供や奥さんたちが憩いのひとときを過ごしています。

市役所では、テニスコート、ゲートボール場など施設使用について受け付けています。電話は、公園管理事務所（℡⑤2111内線275）または亀田記念公園管理事務所（℡⑥2511）へ。

Z.1

対策

力を傾注

登別市雇用対策審議会条例 を制定

職場と生活の自由が満され
るまち、産業と雇用の安定し
たまちをつくることが、私の

究極の願いです。

このため、不況にあえぐ地
元産業を振興し、地域経済に
活力を与える、雇用の場を確保

することが、最大の急務であ
り「産業振興」と「雇用確保」
を最重点として取り組みます。

従つて昭和六十二年度は、
雇用問題を最重要課題と位置
づけし、雇用の開拓と創出に
向け全力を傾注します。

直ちに、雇用問題に対応す
るために「登別市雇用対策審議
会条例」を制定しました。

私は、昭和五十四年、市長
に初当選以来、財政健全化を
常に念頭に置いて、「公平・清
潔」の精神を貫き、「市民総
参加」のまちづくりを基本と
して、市民の暮らしを最重点の
積極的行政

第一、市民の暮らしを最重点の
第二、計画的で無駄のない行
政

第三、広域経済を重視する行
政

第四、一党一派に偏しない市
政

第五、平和と民主主義を守る
市政

第六、公私・清潔の精神を貫
く市政

第七、健全財政で市民の生活
を実現します。

四大政治姿勢を実施にうつします 軒先の整備を重点に

未来を拓く観光レクリエー
ション都市をつくります

「電話非常通報装置」を導入
します。

●カルルス温泉地区

●登別温泉地区

●温泉街地バイパス道路の新
設に合せて、駐車場確保のた
めの対策に取り組みます。

●地獄谷、大湯沼を中心に、
周辺の豊かな自然環境を活用
した観光名所となる新登別大橋
の建設が予定されています。

市民総参加のまちづくり



昭和62年度の市政執行方針
を発表する中浜市長
今号では、市政執行方針の
概要をお知らせします。

市民の立場に立った親切で明るい市役所に

昭和六十二年度 市政執行方針



新しい観光名所となった新登別大橋の近くに、
大規模レストラン、駐車場などを備えた「新登別
プラザ」の建設が予定されています。

大学等の誘致、地熱開発、
北海道マリンパーク、新登別
プラザ、登別ゴルフ場、菓子
製造工場など、これまで誘致

に努力してきた有望な企業な
どが、今、当市に根をおろそ

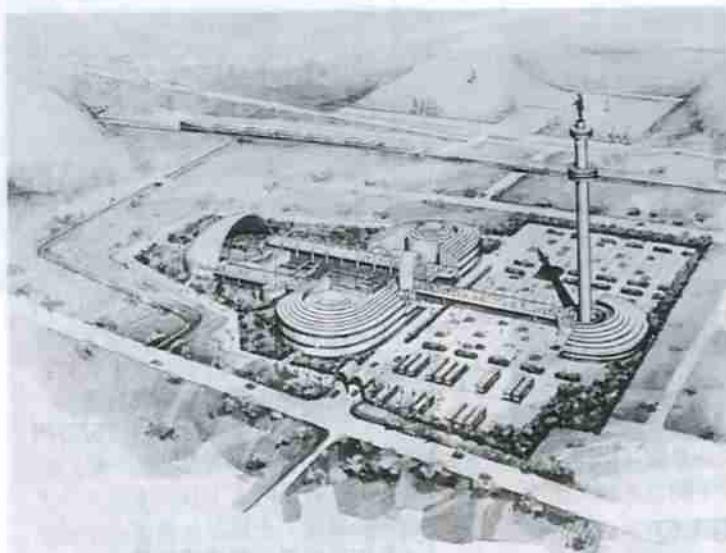
うとしています。

これらの大型プロジェクト
は、雇用の拡大と地域経済の
活性化に大きな役割を果すも
のであり、その実現に全力を

傾注します。

最重要課題は雇用

雇用の開拓と創出に向け全



北海道マリンパーク完成予想図

- 「最少の経費で、最大の行政効果」をあげるため行政改革を推進します。
- 職員の研修を一層強化し、市民に柔軟かつ的確に対応できるよう、職員の意識改革と資質の向上につとめ、常に市民の立場に立つて親切で明るい市役所にします。
- お年寄りの豊かな経験と知識を生かすため、地域社会への参加を積極的に進めるなど

明るい市政で、暮しに思いやりのある生活都市をつくります

- 国道三十六号線幌別バイパスは、昭和六十五年完成を目指すとともに、道々立体化事業、西通り、本町東通り、及び円山通りの街路の整備を進めます。
- 公営住宅の環境整備や、市
- 老人クラブの自主的な活動を助長します。
- 地域の集会施設として、若山地区に老人憩の家を建設します。
- 亀田露園の第三期造成と、公営住宅一棟を建設するとともに緑ヶ丘団地の建替事業の推進を図ります。
- 消防強化対策として、本年度、消防自動車の更新をするとともに救助工作車を購入します。

心ゆたかで、たくましい人を育てる教育文化都市をつくります

- 魅力ある商店街形成のため、幌別中央地区、鰺別地区的商店街再開発を進めなければなりません。地元商店会、商工会議所などと十分協議し、魅力ある商店街づくりを検討します。
- 市内業者を守るため、国・

- 教育の自主性を尊重し、教育の向上に努めます。

産業を育て、雇用を拡大する自立都市をつくります

- 海洋の多様な活用を図り、海洋型レクリエーション基地を最終目的に、大マリンラン

- キャンプ場、ゴルフ場、スポーツ、レジャー施設などの誘致に努め、新しく多様な観光地づくりを進めます。
- 登別地区

- 中央・鰺別地区
- 幌別ダムを核として、川上公園、川上湖畔、新川公園、幌別川河川公園、亀田記念公園など、それぞれの性格を有効に生かします。

キヤンブ場、ゴルフ場、スボ

ドを建設します。

●中央・鰺別地区

幌別ダムを核として、川上

先発注する機会の拡大にともねるとともに、市の公共工事や

物品発注は、市内業者最優先

を買きます。

●漁業基地の強化を図るために、コンブ、ホツキ貝などの栽培漁業を促進しま

す。

- 公社営畜産基地の造成を促進するとともに、バイオ研究施設の誘致実現などにより、酪農、畜産の経営規模拡大、高度化などを進めます。

●公営畜産基地の造成を促進する

とともに、バイオ研究

施設の誘致実現などにより、

酪農、畜産の経営規模拡大、

高度化などを進めます。

●教育の機会均等を基本に、

学校格差の解消など学習環境

の整備を図ります。本年度は、

幌別東小学校と幌別中学校の校舎及び登別温泉中学校の校舎と屋内運動場を大規模改修

します。

順調に造成工事が進む新ゴルフ場・登別カントリークラブ。
昭和64年5月には、18ホールの本格的ゴルフ場がオープンの予定です。

景気浮揚と財政健全化に重点

62年度主な事業のあらまし

例市議会で、当初の一般会計に17億円補正予算案が提出され可決され

250万円となり、61年度一般会計の減となっています。

面では、突出した昨年には及ばない増となっており、国の厳しい補正なかつ財政健全化と景気浮揚を前進します。

推進、市道・排水の整備、公園の整備に重点を置いています。

昨年、千歳町1丁目に市営千歳団地1棟を建設しましたが、今年も同団地に第2種公営住宅5階建て20戸を建設します。

また、団地内にはスベリ台、砂場、ブランコなどを備えた470m²の児童遊園地を作り、環境の充実をはかります。

同団地の完成後、市内の公営住宅は道営も含めて、1種が982戸、2種が732戸となります。市では新規団地の建設を合わせて、古い緑ヶ丘団地の建替事業の推進を図ります。

今年もふえます

市民憩いの場「公園」

公園整備事業 8千985万円

今年も公園を新設・整備します。市内最大規模の川上公園では、遊歩路の施設や敷地造成を継続して行うほか、児童広場、築山の新設に取りかかります。

また、柏木町3丁目にもみじ公園(0.12ha)、千歳町4丁目につくし公園(0.15ha)を新しく設置し、広場、ブランコ、滑台、砂場などを備えます。

新川町3丁目には、ゲートボール場、運動広場を備えた新川公園(1.17ha)

を2年計画で新設する予定です。



市民要望の第1位

“軒先の整備”を重点に

市道舗装排水整備事業

3億8千万円

市民要望の件数の中で最も多いのが道路舗装と排水整備です。

毎年、開かれている町内会と市の懇談会でも、この要望が全体の3割以上を占めています。

今年度では、市道の舗装が破損した所や排水の整備など88件を行うほか、市街地に幹線排水2本を取り付けるなど、軒先整備に3億8千万円の事業費を組んでいます。

未来を支える子供に

快適な教育環境を

小中学校大規模改修事業

1億6,080万円

次代を背負う人材の育成なくして、明日の登別はありません。子供たちが快適な環境の中で学習し、たくましく育っていくことが未来の登別を支えることにつながります。

今年度は、幌別東小学校と幌別中学校の校舎を改修し、登別温泉中学校では校舎と屋内運動場を大規模に改修します。

その他の主な事業

●交通安全施設整備事業

2,660万円

交差点の改良、交通安全標識の設置、歩道の舗装などを行います。

●観光振興特別宣伝活動費助成金

1,000万円

道内と道外の観光客、修学旅行への宣伝活動に助成します。

●若山地区老人憩の家新築事業

1,757万円

市内40番目の「老人憩の家」として、若山町2丁目に木造モルタル平家建てを建設します。

●亀田靈園第3期造成事業

4,700万円

61年度の第2期工事に続いて、今年度も約500区画の造成を予定しています。

●沿岸漁業構造改善事業補助金

745万円

ほっつき稚貝、えぞばか稚貝の放流事業、こんぶ礁漁場の調査に補助します。

●防火安全体制非常通報装置

設置事業助成金 760万円

社会的問題となるホテル火災に対応するため、「電話非常通報装置」の導入に助成します。

●ふるさとの川づくり事業調査費

50万円

幌別川の河川公園化について、計画をたてます。

●河川改修事業

8,990万円

西富岸川、ヤンケシ川、徳消川の3河川を改修します。

●文化振興事業

750万円

登別市民文化の向上を図るために、中央の合唱、ニューミュージックなどを招き、鑑賞の機会を広げます。

●消火栓新設事業

366万円

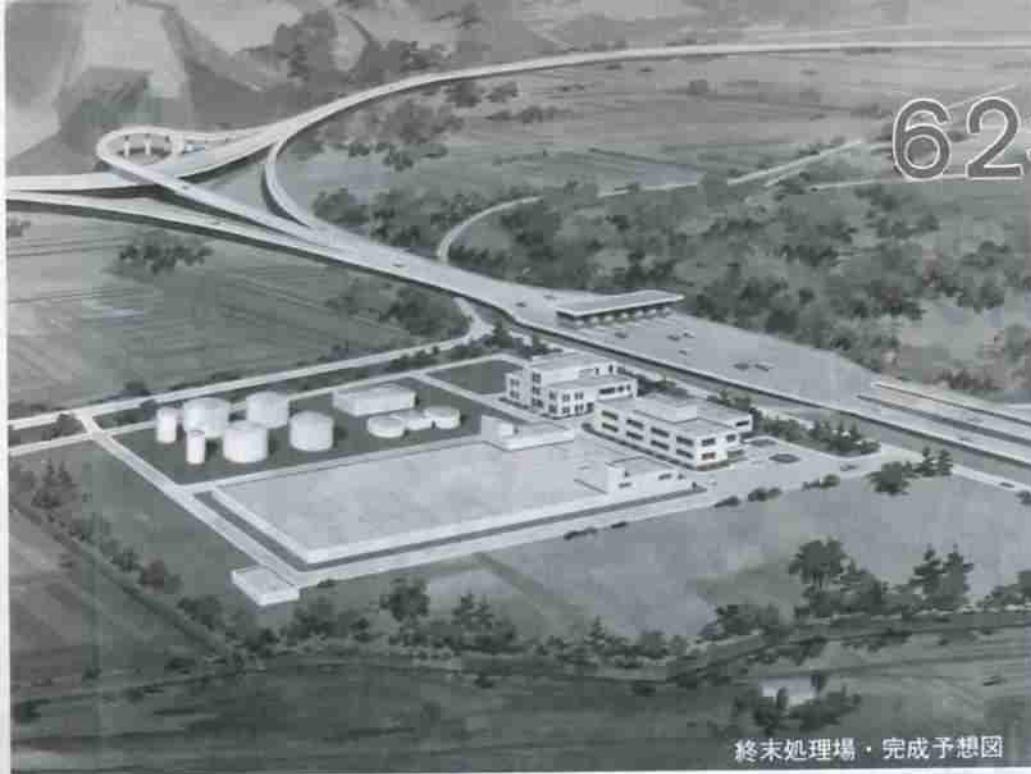
今年は、市内5箇所に消火栓を設置します。

●消防用車両等購入費

6,555万円

救助工作車、消防自動車、サイレン、などを購入して、消防体制の強化を図ります。

62年度予算は 景気浮



終末処理場・完成予想図

公共下水道の心臓部

終末処理場が着工

公共下水道事業 12億810万円

56年度から着工した公共下水道事業。これまで管の敷設工事が主体でしたが、今年度からは終末処理場の建設に着手します。

公共下水道の心臓部とも言える終末処理場は、65年度までの5ヵ年計画で若山町1丁目に建設され、完成後は日量6,750トンの処理能力を発揮します。

今年度は、最終沈でん地、ポンプ室の一部、水処理施設の基礎工事が行われ、65年の一部供用開始に向けて大きく前進する年と言えます。

また、下水管の埋設工事も引き続き行われ、今年度は6,309メートルが敷設される予定です。

富岸土地区画が

好評、分譲中

富岸土地区画整理事業 6億円

教育施設があり、さらに都市計画道路や河川改修などの計画がある富岸地区は、先行的な公共施設の整備と合わせた良好な住宅形成が必要とされています。

61年度から着工したこの事業。地域は、富岸、若山、新生町の各一部49.2ヘクタールで、今年度は幹線排水の進

捗率を100パーセント、上水道新設工事も8割以上まで完了する予定です。

豊かな緑と清流に囲まれ、病院、学校、亀田公園などが近くにあるこの住宅地。購入に関するお問い合わせ、閲覧は市役所区画整理事務係へ。（℡⑤2111内線347）

まちづくりの基盤は

幹線道路網の整備

市道の改良舗装等事業

3億7,091万円

市内幹線道路網の整備は、まちづくりを進める上で大きな基盤です。

今年も富浦、カルス、東札内路線の舗装改良を継続して行い、富岸学園橋（富岸町2丁目）は今年取り付けられます。

また、西通り（中央町3丁目）、本町東通り（幌別町4、6丁目）、円山通り（登別東町4、5丁目）の改良事業も進め、西通りは今年度完成を目指します。

温泉の観光資源を

有效地に活用

登別温泉地域総合整備事業

2,000万円

この整備事業は、分散する観光名所を1つの線で結び、訪れた方々が見やすく、楽しめることをねらいとしています。

地獄谷には、展望効果を高めるため

6月5日から開会された第2回定例会で、予算額を1,150万円を追加する62年度一般会計予算が可決されました。

当初予算と合わせると総額131億円となり、当初予算と比べると0.3パーセントの増額となります。

しかし、特別会計を含めた事業費のうち、いわゆる通常年と比べ30パーセントの助成率削減や市税の収入伸び悩みの影響で、予算額を押し出した予算編成となっています。

事業内容としては、公共下水道の新設など、市民要望の強い生活環境整備が主な予算額となっています。

遊歩道の中間地点に丸太材を組んだ張り出し展望台を作り、これまで見れなかった地獄谷の景観が一望できます。

大湯沼探勝遊歩道の途中にあり、危険なことから一般に開放されていなかった大正地獄にも、散策歩道と展望台を作ります。

このほか、大湯沼の展望台整備や奥の湯の園地整備、沿道に虚子の句碑がある舟見山遊歩道の整備も同時に手がけます。



新たに1棟建設

市営千歳団地

公営住宅建設事業 1億7,258万円

良い生活環境の第1は、快適な生活空間にあります。

